

公益社団法人 日本青年会議所 2021年度 四国地区 徳島ブロック協議会

ブロック大会実行委員会 委員長 庄野 義秀

<p>現 状 分 析</p>	<p>現在、全国的に新型コロナウイルスが蔓延しており、国内での感染者数は204000例になっています。徳島県においては194例(12月23日現在)が確認され、新型コロナの感染による入院・療養者数は6人となっており8月のピーク時よりは減少傾向にあります。しかし、新型コロナウイルスの今後の動向は不透明であり、さらに徳島県において経済面では、公益財団法人徳島経済研究所のアンケートによると、製造業と非製造業の180社で、コロナ禍における自社への影響が「大きなマイナス」と「マイナス」合わせた回答が74.4%によることから新型コロナウイルスの蔓延により地域経済は低迷していることが伺えます。この影響によって低迷した地域経済の再建を推進する一助を徳島ブロック協議会で担うべく「地域を元気づける事業」を構築する必要があります。</p> <p>また、毎年開催されるブロック大会は本年第48回を迎えます。2019年度のブロック大会出席会員数は100名前後であり、約40%の出席率となります。県内7LOMが一堂に会し、活動内容と次年度の体制が発表され、会員の交流と確認の場となり、年に一度の式典であるため、コロナ禍に柔軟に対応しつつより多くの会員出席が望まれます。</p>
<p>連 携 概 要</p>	<p>■地域経済の再建を推進する事業の企画・実施 現在の状況を踏まえ、コロナ禍においても開催できる「新しい生活様式」を取り入れたイベントの実施を目指し、徳島県や小松島市の行政、徳島ブロック協議会内各LOM、社会福祉協議会、県内企業、地域各団体と連携し、民間企業や個人事業主が出店できるイベントを行うことで停滞している地域経済の立て直しを推進し、地域に定着することで町の賑わい復活の第一歩となることを目指します。</p> <p>■徳島ブロック大会記念式典の実施 現在ブロック内のメンバー数が減少傾向にあります。これを受けて、ブロック内のメンバー全員がJC運動に対する取り組み方を今一度再確認し、JC運動の意義を理解することで今後のJC運動においての礎になりJCのまちづくり団体としての運動がより活発になるブロック大会を目指します。</p>
<p>政 策 手 法</p>	<p>■地域経済の再建を推進する事業の企画・実施 新型コロナウイルスの蔓延による、経済の低迷、コロナ禍においても開催できる「新しい生活様式」を取り入れた民間企業、個人事業主などが出店できるイベントを行い地域において継続的に行っていけるモデルケースを目指します。また、地域の交流人口の増加を図り徳島の質的価値の高い資源の魅力を再発見し認知を向上し、経済効果の発生を促すことで、停滞した地域経済の再建を推進するイベントを行います。</p> <p>■徳島ブロック大会記念式典の実施 本年度の活動を報告し、次年度ブロック会長・ブロック大会開催地を発表して周知する記念式典を開催する必要があります。各LOMと綿密な連絡をとり、PR活動を積極的に行い、記念式典により多くのメンバーに参加してもらうことにより会員一人ひとりの士気を高め、意識改革につなげます。</p>
<p>パ ー ト ナ ー</p>	<p>【記念事業】徳島県(政策協力) 小松島市(政策協力) 地域各団体(政策協力) 徳島ブロック協議会内各LOM(政策協力、支援実施) 社会福祉協議会(支援実施) 民間企業(政策協力、効果発信) 地域各団体(政策協力)</p> <p>【記念式典】徳島ブロック協議会内各LOM(政策協力、支援実施)</p>